



高校生活最後のGW！

新緑が美しい季節になりました。月日の経つものは早いもので、新年度もスタートして早くも1ヶ月。新しいクラスにも慣れ、新しい仲間とともに気持ちを新たにしていることと思います。

さて、昨年末あたりから何でもかんでも「平成最後」でしたが、いよいよGWの真っ只中5/1から「令和」の時代に入ります。今年のGWは陛下即位の関係でなんと10連休（もともと西高の創立記念日が5月1日ですので西高生のGWは他校より1日多いのですが、今年に限ってはその恩恵も霞んでしまいました(笑)）皆さんはどのように過ごすのか計画を立てていますか？新年度の疲れをリフレッシュする人、最後の高校総体に向けて部活動に励む人、など様々な過ごし方があると思います。鳳凰祭の準備も、この連休から本格的になっていくのですかね。しかし、学習とのバランスを維持することは忘れないようお願いいたします。西高生の素晴らしいところは、どのようなことにも手を抜かず、誠実に取り組むところだと信じています。

この連休明けには高校総体があります。部によっては最後の試合になるところもあるかと思いますが、仲間と協力し、存分に燃えてください。3年生の頑張る背中を見ながら、後輩達はその伝統を受け継いでいくのです。そして、部活動をしっかりやりきったという自信や達成感を、進路実現に繋げて欲しいと思います。皆さんの周りにはあらゆる場面で頑張っている仲間がいます。そのような仲間の頑張る姿も、自分の活力にしてほしいと思います。私たち教員も、目の前にいる生徒の皆さんが頑張っているから、私たちも頑張れるのです。私たちは皆さんが頑張る姿を励まし、支えていきたいと思っています。

「いつまでも あると思うな 西高課題」

昨年の西高生の「課題」についてのアンケートで「課題について、学力が向上していると思うか」との質問の結果は、「①大いに感じる」と「②感じる」を併せて、1年次生が86.7%、2年次生が79.6%、3年次生が70.9%でした。実は西高の課題の質と量は皆さんに高い評価をいただいているんですよ。しかし、年次が上がるにつれてその評価がダウンしていることも事実です。ここでLet's Think.「自分の勉強したい」と思っていないませんか？その姿こそ西高が目標とする「進化した西高生」。それは、課題を受動的から能動的に捉え「今の自分に何が必要なのか？」の答えを自ら考え実践していく生徒です。ここで一句「いつまでも あると思うな 西高課題」です。「にしこうかだい」を変換したら「西効果大」とでて、この文章を書いている皆さんへの効果大を確信しました。先日配付された課題一覧が最後になるかもしれません。この連休、自分自身の受験勉強に向き合うスタートとしてみてください。

3年次主任 三井恒弘

保護者のみなさまへ

3年次生になり、約一ヶ月が経過しました。生徒たちには最上級生としての自覚が見られ、意欲的に学校生活を送っている様子を感じられます。生徒の進路実現に向けての取り組み方には個人差はあるものの、何かを変えなければいけないという思いは感じ取られます。国数英の3教科中心の学習から理社に力を入れること、「課題を与えられた学習スタイル」から「自主的に取り組む学習スタイル」に転換することも、今後意識させて取り組むよう指導したいと考えております。

部活動や鳳凰祭への取り組みにおいても、強い意気込みが感じられます。それらの取り組みの中でも、学習との両立や切り替えをしっかりとできるよう見守っていきたいと考えております。

また、ご家庭で気になることや教員に知っておいてほしいことがありましたら、ご相談ください。